YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	**RM**	**学部・学科**	**国際商学部**
学 年	**3**	**派遣国**	**カナダ**
派遣大学	**モントリオール大学**		
期 間	**2025 年 9 月 1 日～2026 年 4 月 30 日**		

【生活編】

1．滞在先

滞在形態	学内の学生寮 ／ 学外の学生寮 ／ アパート ／ その他（ ）					
部屋	個室 ／ 2 人部屋 ／ 3 人部屋 ／ その他（ ）					
設備	*共同＝◎ 部屋にあるもの＝○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	暖房のみ○	冷蔵庫	○
滞在費	約（ 53000 ）円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	（ 徒歩 ）で、約（ 20 ）分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2．日常生活

（1）1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	50000 円	自炊 40000 円、外食 10000 円
学用品購入費	10000 円	教科書代÷4 ヶ月（1 学期）で計算
交通費	7300 円	地下鉄とバスの 1 ヵ月定期
交際費	2000 円	
その他	12000 円	コインランドリー2000 円、薬 2200 円、その他日用品、観光等
合計	**81300 円**	*概算で記録してください。

（2）治安状況・危険地域など

モントリオールはカナダの中でも特に治安のよい地域として知られています。実際、狭い道や夜の大きな駅（Berri-UQAM 駅近辺等）を避け、貴重品の扱い等基本的な危機管理としていわれるものに気を付けておけば問題なかったです。公共交通機関の中ではスマホを触っている人も多かったです。

3．海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学／ その他（　　）		
加入期間	（ 8 ）ヶ月間	保険料	（　　111729　　）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Medical insurance		
加入期間	（ 8 ）ヶ月間	保険料	（　　82751　　）円

4．滞在都市についての情報

滞在都市／町（　**モントリオール**　）

英語とフランス語を公用語とするカナダの中でも、フランス語の保存に力を入れている地域です。山を挟んで大学側は静かでフランス語使用者が多く、反対側は観光地が多く英語使用者が多いです。公共の場所でのアナウンスは全てフランス語で行われます。

移民や、移民のルーツを持つ人が多く、様々な肌の色や文化的背景を持った人々が暮らしています。また、ある程度多様性への寛容さがあります。

モントリオールは北米のパリとも呼ばれ、フランス同様パンやチーズ等が美味しいです。北米的なものだと、プーティン（フライドポテトにチーズとソースをかけた料理）や、アメリカのベーグルとはまた別の作り方をされているモントリオールベーグルが有名です。音楽やアート等、文化的なイベントも多く開催されます。

気候は夏と冬の寒暖差が大きいです。夏は、30 度ほどまで気温が上がる日もありますが、冬はマイナス 20 度ほどまで気温が下がり、雪もふります。空気は乾燥していて、湿気によるむかむかした感じはないですが、冬の静電気は強いです。

ヨーロッパのフランス語使用地域と比べ、物価が低いことも特徴です。

【学業編】

1．大学情報

大学	モントリオール大学	所在地	モントリオール
最寄空港	モントリオール・ピエール・エリオット・トルドー国際空港	空港からの距離	約 20km
空港⇔大学	（　　バス、地下鉄　　）　*移動手段		
学生数	約 71,146 人	留学生数	毎年 9,800 人以上
学部	Faculté de l’aménagement（建築） Faculté des arts et des sciences（文理） Faculté de droit（法） Faculté de médecine（医） Faculté de médecine dentaire（歯科） Faculté de médecine vétérinaire（獣医） Faculté de musique（音楽） École d’optométrie（検眼） Faculté de pharmacie（薬） École de santé publique（公衆衛生） Faculté des sciences de l’éducation（教育） Faculté des sciences infirmières（看護） Faculté de l’apprentissage continu（生涯学習） *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	前期 Faculté de l’apprentissage continu、後期 Faculté des arts et des sciences *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

２．週間スケジュール

①（　　9　　）月～（　　12　　）月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後	Phonétique et pratique de l'oral, élémentaire	Anglais 4	Phonétique et pratique de l'oral, élémentaire		Expression orale académique et professionnelle

土曜午前：Langue, communication et culture, QUM4

②（　　1　　）月～（　　4　　）月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後	・ Reading Popular Culture ・Anglais 5			African-American Literature	

3．履修内容

科目	Phonétique et pratique de l'oral, élémentaire		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	非フランス語話者向けのフランス語の発音に関する授業です。 対面での講義形式です。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目(共通教養)	
	単位数	2	
	担当教員	-	

科目	Langue, communication et culture, QUM4		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	フランス語 4 技能の授業です。 対面での講義形式です。		
成績	C+		
YCU 振替予定	科目	専門外国語(フランス語)	
	単位数	2	
	担当教員	ロブエ　ナタリー	

科目	Expression orale académique et professionnelle		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	英語で開講されます。オンライン授業です。授業には zoom での同期セッション及び自分で課題を進める非同期セッションがあります。アカデミック/プロフェッショナルスピーキングに特化しています。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目(共通教養)	
	単位数	2	
	担当教員	-	

科目	Anglais 4		
履修期間	秋学期	単位数	3
授業内容／形態	英語で開講されます。英語 4 技能の授業です。 対面での講義形式です。		
成績	C+		
YCU 振替予定	科目	海外留学科目(共通教養)	
	単位数	2	
	担当教員	-	

科目	African-American Literature		
履修期間	冬学期	単位数	3
授業内容／形態	英語で開講されます。南北時代以降のアメリカの歴史とアフリカ系移民の重要な局面について当時の文学を読み解きながら学ぶ授業です。授業は対面で、全体を通してディスカッション形式で進みます。		
成績	D+		
YCU 振替予定	科目	-	
	単位数	-	
	担当教員	-	

科目	Reading Popular Culture		
履修期間	冬学期	単位数	3
授業内容／形態	英語で開講されます。ポップカルチャーに関わる題材を通して私たちが消費するカルチャーの中に存在する『アイコン』を特定し、批判的に分析することを目標とする授業です。対面での講義形式です。		
成績	E		
YCU 振替予定	科目	-	
	単位数	-	
	担当教員	-	

科目	Anglais 5		
履修期間	冬学期	単位数	3
授業内容／形態	英語で開講されます。英語 4 技能の授業です。 対面での講義形式です。		
成績	D+		
YCU 振替予定	科目	-	
	単位数	-	
	担当教員	-	

＜総括＞

（1）全体的な感想　　*留学生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

英語に関して、日本よりも圧倒的な多読環境にあり、英文を読むことに対する抵抗感がなくなりました。講義によってジャンルは学術論文、小説、詩、脚本、自伝まで多岐にわたり、また、授業が事前に文章を読んだことを前提として進んでいくため、強制度が高かったのがよかったです。フランス語に関して、渡航前から発音を意識していたのと、秋学期に詳しく発音の仕組みについて学んだため、初〜中級であれば音の繋がりによってリスニングが難しく感じられることはありません。一方で、言語交換を通して、自分の知っている単語量がとても少ないこと、また、文法がかなり怪しいという課題が見えました。モントリオールは人種が多い分言語には様々な訛りが見られ、現地の人々は訛り慣れしており、うまく話せなくても聞き取る、あるいは話をさせてくれる傾向があるため、自分は思ったより外国語を話せているのではないかという気分になれます。別の地域だとどうなるかは不明です。
文化に関しては、モントリオールの人は優しい、と感じたのが強く印象に残っています。バスでは年配の方に席を譲るし、雨の強い日には一緒に傘に入れてもらったり、当日バスの迂回を知って彷徨っていたときに、迂回路上の本当は止まらないバス停でバスに乗せてもらったりしたこともありました。一方で、大きくひび割れた道路が全く修理されなかったり、エスカレーターのついていない駅があったり、日本よりも不便な部分も多く、この違いはどのような文化や教育から来ているのだろうか、と気になりました。特定の言語を保存しようとする姿勢や、先住民族との間にある課題など、日本と通じる部分もありました。多様性を認識しつつも、フランス語など共通のものにも視点を当てるモントリオールの政策は、日本にも活かせる部分があるかもしれないとも思うし、一方で、日本語と英語は英語とフランス語以上に文法の差が大きいので、モントリオールのように公共のアナウンスを全て日本語にするという方向に行くのは、あまり日本には適さないのではないだろうか、というような疑問点もいくつか浮かびました。知れば知るほど興味深い地域だったと思います。

（2）今後の展望　　*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

モントリオール大学での授業や、言語交換の相手に教わった勉強法も生かしつつ、語学の勉強を強化し、将来の選択肢が日本にも海外にも広げられるようにしたいです。国際的に活躍のできる職場も視野に入れつつ、英語は資格を早めに取得し、社会に出るまでにより専門分野に特化した学習ができることを目指したいです。フランス語は、知っている単語の少なさが課題であると分かったので、そこの解決をひとまずの目標としつつ、最終的にはビジネスレベルまで持っていくことができれば、より選択肢が増えると思います。
また、留学を通して気になったことを放置せず、そのテーマに関わる書籍を積極的に読もうと思います。知識の幅が広がれば、将来どこかで活きるタイミングが来ると思います。また、後期から公共経営論のゼミに所属するので、モントリオールの文化に関する知識や、博物館の制作するオンラインコンテンツなど、新しく得た参考資料を探すための知識を活用できるといいなと思います。

（3）後輩へのアドバイス　*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

まず、留学前の書類や荷物の準備には、皆さんが想像する以上に時間がかかると思います。手続きのステップを早いうちに確認し、まとめて優先順位を付けておくなど、タスク管理を丁寧に行うことがおすすめです。留学前の準備期間は、1 学期の期末試験の時期とも重なっています。留学前に語学学習をするほど留学後が楽になるといいますが、その時間を確保するためにも戦略的に計画を立てることが重要です。持って行く荷物は、現地でも買えるものがあるということを踏まえて、多くなりすぎないようにしましょう。モントリオールは道が日本ほど整備されていないため、荷物が多いと移動・運搬に苦労します。
次に、モントリオールへ留学する場合は、冬への対策が重要です。冬は日照時間が極端に短くなるため、その分健康を崩しやすくなります。普段部屋にこもりがちだったり、運動不足だったり、食事が偏りがちだったりする人は、冬が来る前に習慣を見直しましょう。暖かい上着やブーツ、手袋などは、現地で買うのがおすすめです。上着はフードにファーが付いているものを買うことで、雪よけになります。